

平成 28 年度

文京学院大学  
卒業生意識調査

平成 29 年 4 月

# 目次

I. 調査企画.....	3
1. 調査の目的.....	4
2. 調査の実施要領.....	4
II. 調査結果.....	5
1. 大学への入学に大きく影響したこと.....	6
2. 在学中の通学拠点.....	7
3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期.....	8
4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと.....	9
5. 在学中に心配だったこと.....	10
6. 在学中の満足度.....	11
7. 家庭で話題になったこと.....	13
8. 学生生活に対する総合満足度..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
9. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか.....	16
III. 因果分析結果.....	17

## I. 調査企画

---

## 1. 調査の目的

文京学院大学は、自立と共生を教育理念として、さまざまな教育研究への取り組みを展開してきた。

昨年に引き続き、より一層の教育力向上を図るための参考資料として、卒業生のアンケート調査を実施した。

## 2. 調査の実施要領

### (1) 調査対象および回収サンプル数

平成 28 年度本学院の卒業生を対象とし、卒業生 586 名から回答を得た。

内訳は以下の通り。

	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部	合計
卒業生	117	154	132	183	586

### (2) 調査方法

卒業生は・・・(詳細が解りかねるため、割愛)

### (3) 調査時期

	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部
卒業生				

### (4) 調査内容

1. 大学への入学に大きく影響したこと
2. 在学中の通学拠点
3. 大学の活動によって自分自身が変わった、あるいは成長したと感じた時期
4. 成長ぶりを強く感じたこと
5. 在学中に心配だったこと
6. 在学中の満足度
7. 家庭で話題にしたこと
8. 学校生活に対する総合満足度
9. 家族や親戚、知り合いに大学への入学をすすめようと思うか
10. 在籍中に自分自身にとってためになったこと、役立った制度、行事
11. 文京学院に対する意見・要望・不満・改善点

## Ⅱ. 調査結果

---

- ※ 学部別分析を行っておりますが、サンプル数が違うため参考としてお読み下さい。
- ※ 参考までに、全体の傾向を昨年度のデータと比較を行っております。

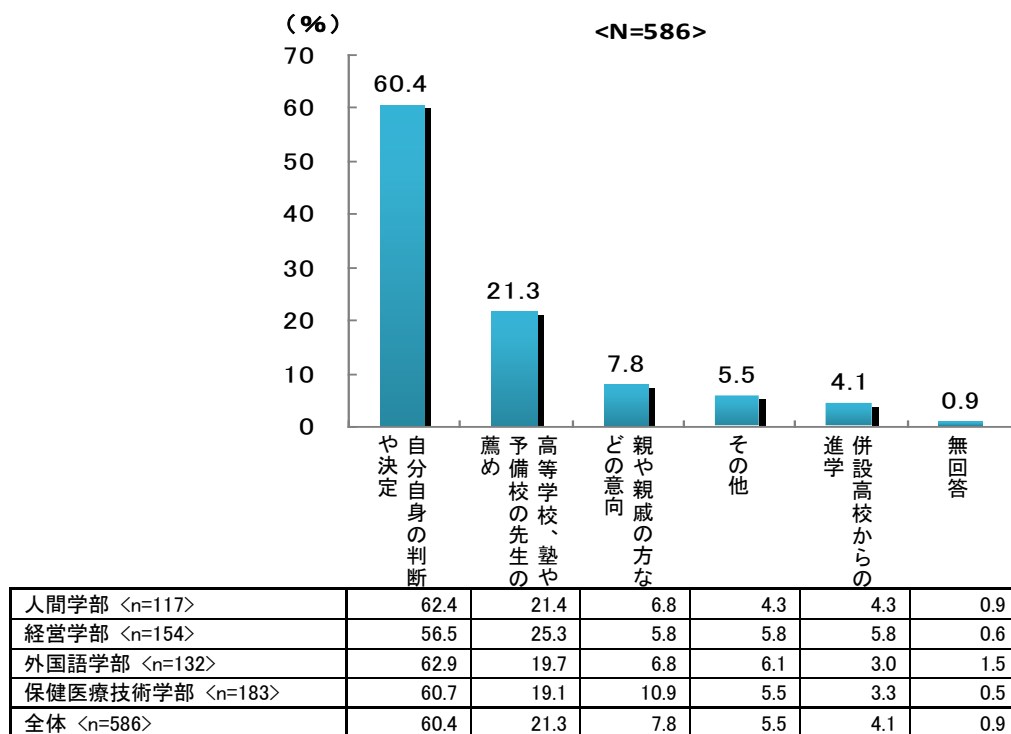
	人間学部	経営学部	外国語学部	保健医療技術学部	合計
昨年度卒業生	180	141	140	191	652
今年度卒業生	117	154	132	183	586

## 1. 大学への入学に大きく影響したこと

約6割(60.4%)が「自分自身の判断や決定」で選択している。

学部別に見た場合、【経営学部】では「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」(25.3%)、【保健医療技術学部】では「親や親戚の方などの意向」(10.9%)が、他学部よりも比較的多め。

図 1-1. 入学に大きく影響したこと



卒業生全体で見ると、「自分自身の判断や決定」が約6割(60.4%)を占めている。2位は「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」(13.0%)となっている。

この結果の順位を昨年度と比較すると、3位と4位が逆転している。昨年度4位「親や親戚の方などの意向」は5.5%⇒7.8%と2.3ポイント増加して、今年度3位に。また、昨年度3位「その他」は6.0%⇒5.5%と0.5ポイント減少し、今年度4位となった。項目別で見た場合、「自分自身の判断や決定」は69.8%⇒60.4%と9.4ポイント減少し、「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」は13.0%⇒21.3%と8.3ポイント増加している。

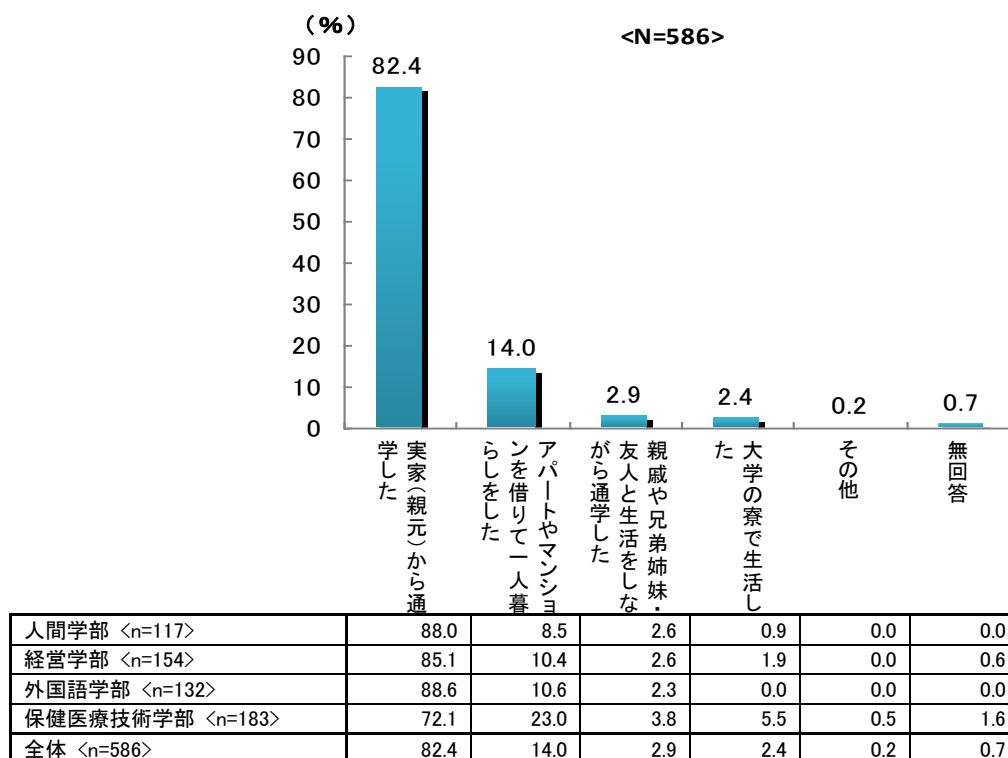
大学の学部別に見た場合、どの学部も「自分自身の判断や決定」が多いが、昨年とくらべて全体的に減少している。特に【経営学部】は75.2%⇒56.5%と18.7ポイントの減少となっている。

「高等学校、塾や予備校の先生の薦め」では、【人間学部】が11.1%⇒21.4%と10.3ポイント、【経営学部】は13.5%⇒25.3%と11.8ポイントと、どちらも10ポイント以上の増加となった。

## 2. 在学中の通学拠点

8割以上(82.4%)が「実家（親元）から通学した」を挙げ、多数を占めている。学部別に見た場合、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が、【人間学部】では低め(8.5%)、【保健医療技術学部】では高め(23.0%)である。

図 1-2. 在学中の通学拠点



卒業生全体で見ると、「実家（親元）から通学した」が他を大きく引き離して、8割(82.4%)を超えている。続く「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が(14.0%)、「親戚や兄弟姉妹・友人と生活をしながら通学した」(2.9%)、「大学の寮で生活した」(2.6%)と続く。

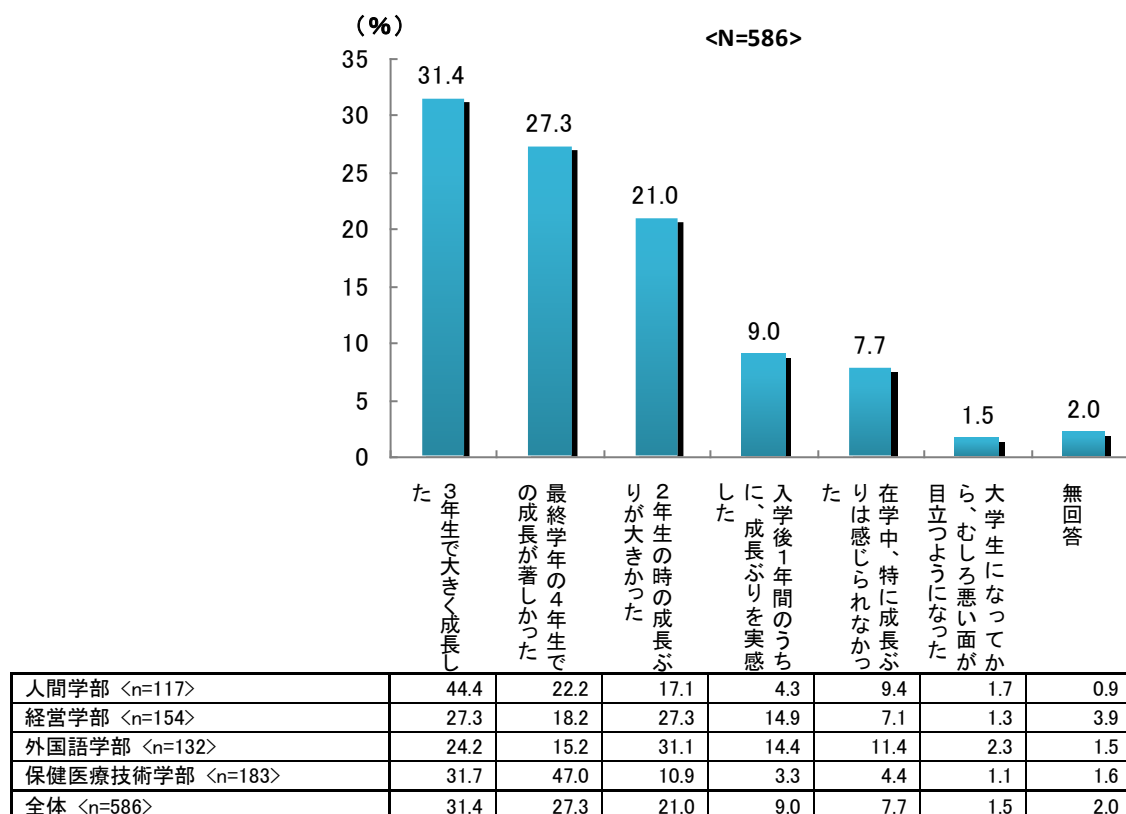
この結果の順位を昨年度と比較すると、1位と2位は同じで、3位と4位が逆転している。昨年度3位「大学の寮で生活した」は2.6%⇒2.4と0.2ポイント減少し、今年度4位に。昨年度4位「親戚や兄弟姉妹・友人と生活をしながら通学した」は1.4%⇒2.9%と1.5ポイント増加し、今年度3位となった。

大学の学部別に見た場合、「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が【人間学部】は8.5%とやや低めである事に対し、【保健医療技術学部】では23.0%と多い。また、昨年度と比較した場合、【外国語学部】では「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が6.4%⇒10.6%と4.2ポイント増加し、「実家（親元）から通学した」は92.1%⇒88.6%と3.5ポイント減少した。【人間学部】では「アパートやマンションを借りて一人暮らしをした」が12.8%⇒8.5%と4.3ポイント減少し、「実家（親元）から通学した」は81.7%⇒88.0%と6.3ポイント増加した。

### 3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期

成長を感じた卒業生は 88.7%で、「3 年生で大きく成長した」(31.4%)が最も多い。  
成長したと感じた時期は、3 年生、4 年生（最終学年）、2 年生、1 年生 となっている

図 1-3. 大学での活動により自分自身が成長したと感じた時期



卒業生全体で見ると、「3 年生で大きく成長した」が 3 割以上(31.4%)と最も多く、「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」(27.3%)、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」(21.0%)、「入学後 1 年間のうちに、成長ぶりを実感した」(9.0%)と成長ぶりを感じた卒業生は 88.7%と 8 割を超える。対して、「在学中、特に成長ぶりは感じられなかった」(7.7%)、「大学生になってから、むしろ悪い面が目立つようになった」(1.5%)と感じられなかった卒業生は 1 割にも満たない。

本結果の順位は昨年度と比較すると 4 位と 5 位が逆転している。昨年度 5 位「入学後 1 年間のうちに、成長ぶりを実感した」は 5.1%⇒9.0%と 3.9 ポイント増加して今年度 4 位に。昨年度 4 位「在学中、特に成長ぶりは感じられなかった」は 7.7%⇒7.7%と同じだが、今年度 5 位に。

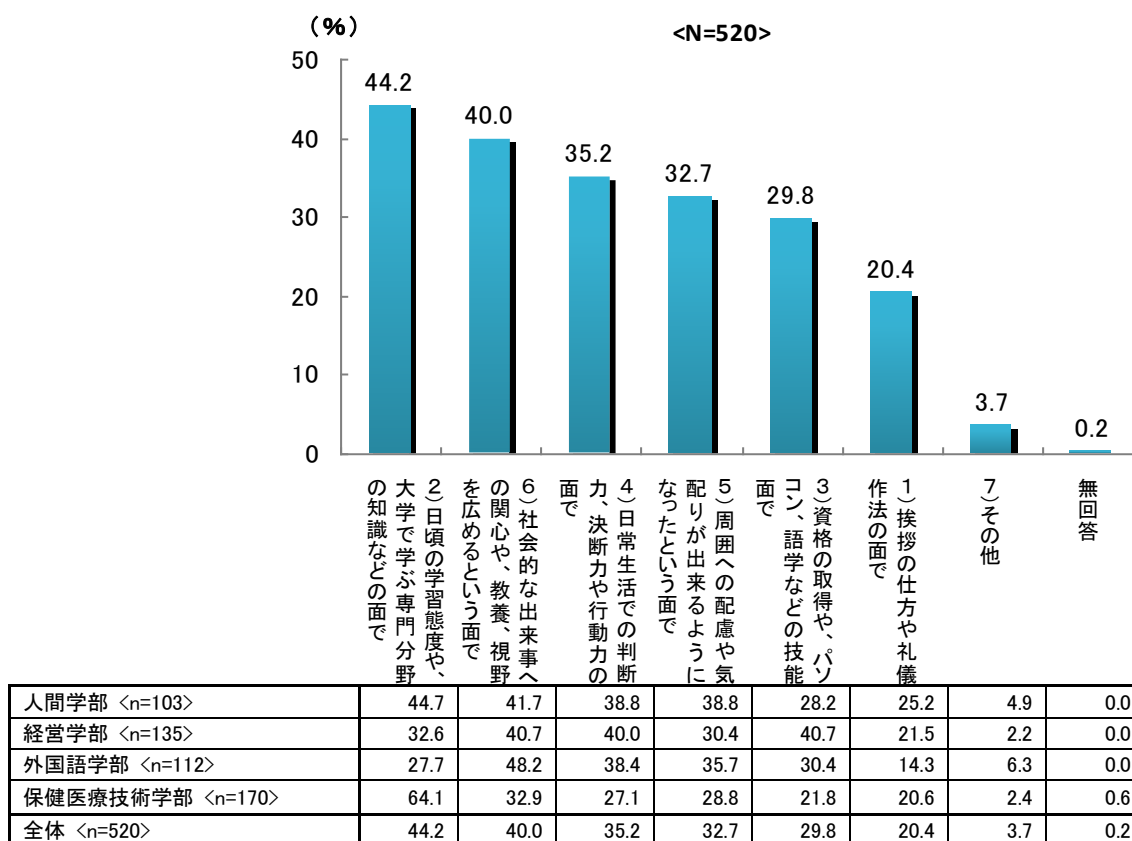
大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」が 38.2%⇒47.0%と 8.8 ポイント増加し、他学部と比較すると 20 ポイント以上多く上回る一方、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」は 14.7%⇒10.9%と 3.8 ポイント減少している。【外国語学部】は「3 年生で大きく成長した」と「最終学年の 4 年生での成長が著しかった」がそれぞれ 10.1 ポイント、6.9 ポイント減少しているが、「2 年生の時の成長ぶりが大きかった」と「入学後 1 年間のうちに、成長ぶりを実感した」はどちらも 5 ポイント以上増加している。



#### 4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと

「2) 日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」、「6) 社会的な出来事への関心や、教養、視野を広めるという面で」、がそれぞれ 44.2%、40.0%、と約 4 割となっている。

図 1-4. 自分の成長ぶりを強く感じたこと(成長ぶりを感じたと回答した人のみ)



3.で成長ぶりを感じたと回答した卒業生に対し、具体的にどの項目かの回答より、「2) 日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」、「6) 社会的な出来事への関心や、教養、視野を広めるという面で」、がそれぞれ 44.2%、40.0%、と約 4 割となっている。続く「4) 日常生活での判断力、決断力や行動力の面で」(35.2%)「5) 周囲への配慮や気配りが出来るようになったという面で」(32.7%)も 3 割を超える。

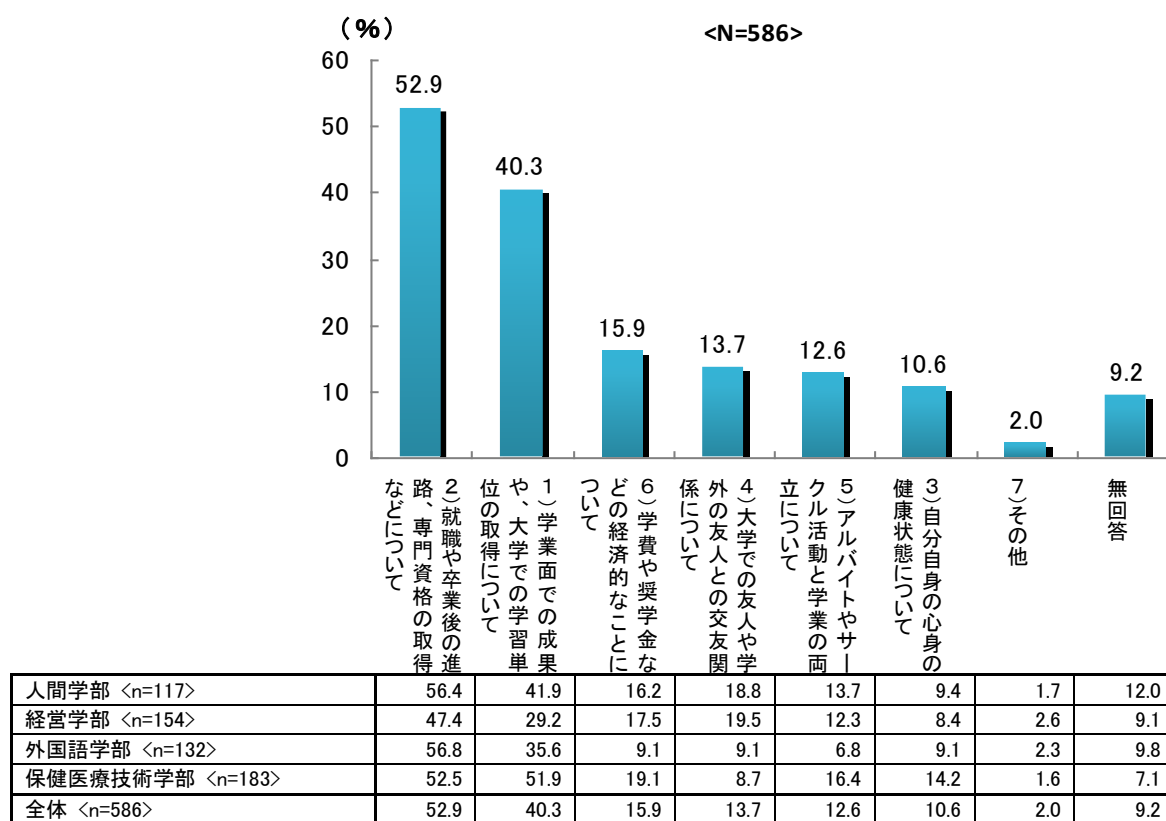
本結果の順位を昨年度と比較すると、5 位と 6 位が逆転している。「1) 挨拶の仕方や礼儀作法の面で」は 25.9%⇒20.4%と 5.5 ポイント減少し今年度 6 位に、「3) 資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」は 20.5%⇒29.8%と 9.3 ポイント増加して今年度 5 位となった。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は「2) 日頃の学習態度や、大学で学ぶ専門分野の知識などの面で」が他学部と比べ 19.4~36.4 ポイント高く、【経営学部】は「3) 資格の取得や、パソコン、語学などの技能面で」が他学部と比べ 10.3~18.9 ポイント高い。

## 5. 在学中に心配だったこと

「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」（52.9%）が圧倒的に多い。  
学部別で見た場合、【保健医療技術学部】では「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」が他学部よりも高めである。

図 1-5. 在学中に心配だったこと



卒業生全体では、「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」（52.9%）が最も高く、続いて「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」（40.3%）が約4割、以下「6）学費や奨学金などの経済的なことについて」（15.9%）、「4）大学での友人や学外の友人との交友関係について」（13.7%）、「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」（12.6%）、「3）自分自身の心身の健康状態について」（10.6%）となっている。

本結果の順位は昨年度と同じである。項目別に見ると、「2）就職や卒業後の進路、専門資格の取得などについて」は 59.4%⇒52.9%と 6.5 ポイント減少し、「6）学費や奨学金などの経済的なことについて」も 21.8%⇒15.9%と 5.9 ポイント減少している。一方で「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」は 9.8%⇒12.6%と 2.8 ポイント増加している。

大学の学部別に見た場合、【外国語学部】では「6）学費や奨学金などの経済的なことについて」（9.1%）、「5）アルバイトやサークル活動と学業の両立について」（6.8%）が他学部よりも低く、【保険医療技術学部】では「1）学業面での成果や、大学での学習単位の取得について」（51.9%）が他学部よりも高めである。

## 6. 在学中の満足度

〈大変満足〉が約18%~37%の間で、〈どちらかという満足〉を合わせた《満足項目》では、約74%~88%と大半を占める割合となっている。

【保健医療技術学部】のポイントは、全体的に高い傾向にある。

図 1-6. 在学中の満足度

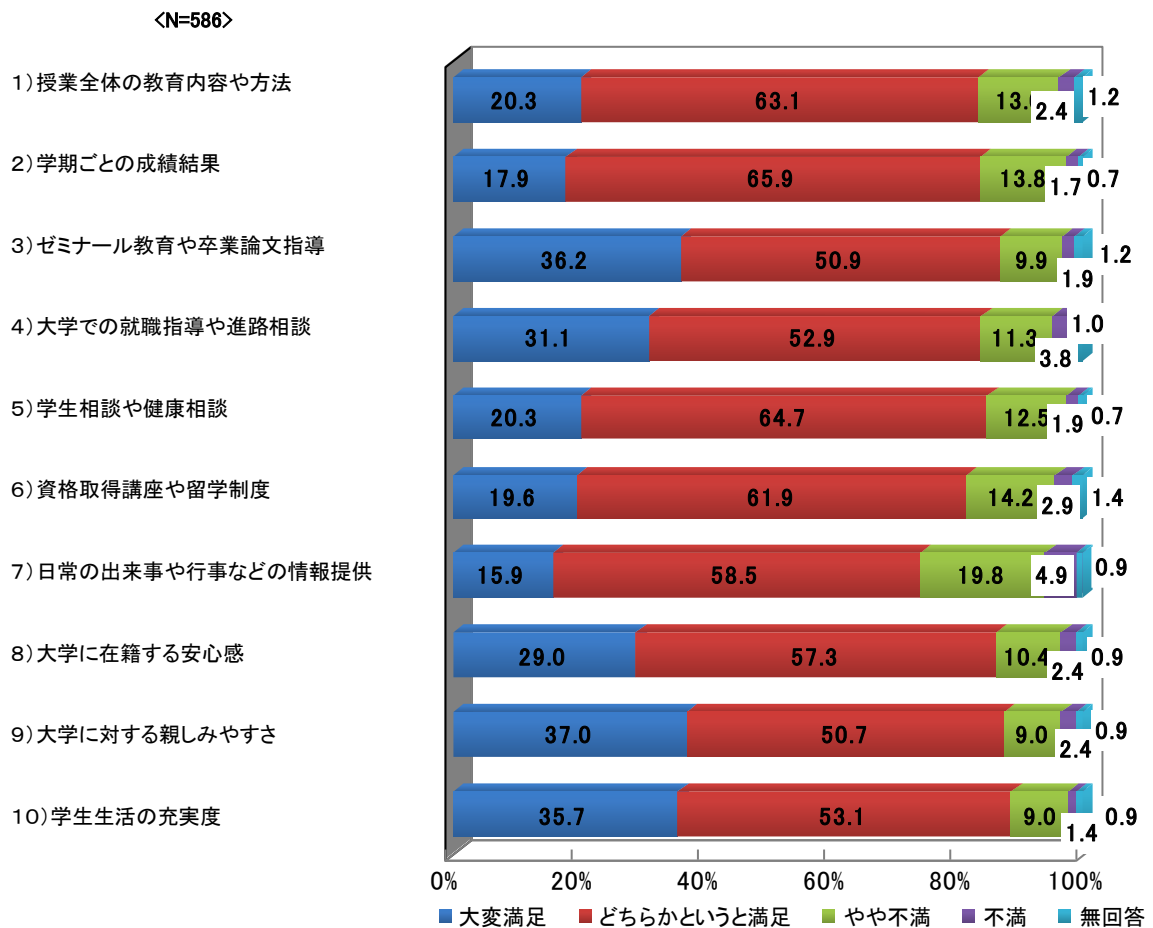
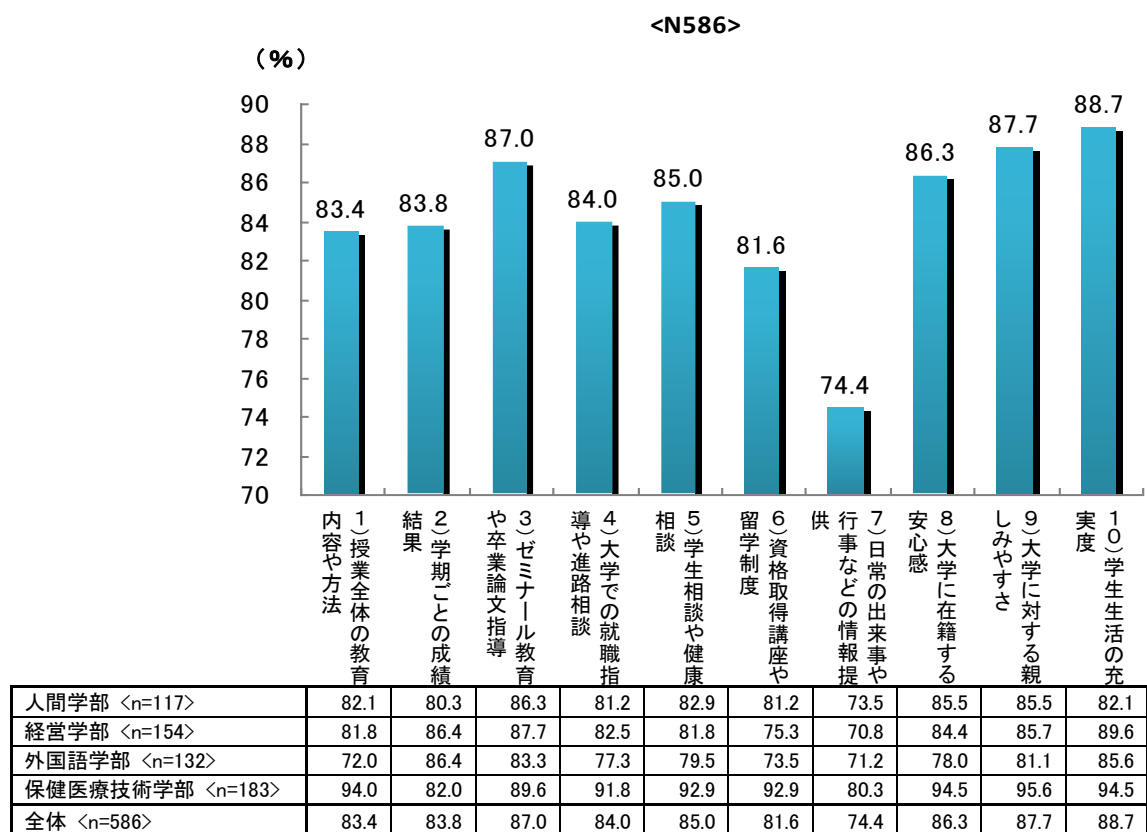


図 1-7. 在学中の満足項目（〈大変満足〉＋〈どちらかという満足〉）



卒業生全体では、《満足項目》では「10) 学生生活の充実度」(88.7%)、「9) 大学に対する親しみやすさ」(87.7%)、「3) ゼミナール教育や卒業論文指導」(87.0%)、がいずれも 87%を超える満足度を示し、〈大変満足〉もそれぞれ 35.7%、37.0%、36.2%と 35%を超えている。また、「8) 大学に在籍する安心感」(86.3%)も満足度が高い。その他の項目でも「7) 日常の出来事や行事などの情報提供」(74.4%)以外の《満足項目》は 80%を超えている。

昨年度と比較すると、《満足項目》では、「7) 日常の出来事や行事などの情報提供」(74.4%)以外は 80%を超えている。多項目より低めの「7) 日常の出来事や行事などの情報提供」は、〈大変満足〉が 13.5%⇒15.9%と 2.4 ポイント増加しているが、〈どちらかという満足〉が 63.5%⇒58.5%と 5 ポイント減少しており、《満足項目》では 77.0%⇒74.4%と 2.6 ポイントの減少となった。また、「4) 大学での就職指導や進路相談」(84.0%)、「6) 資格取得講座や留学制度」(81.6%)の《満足項目》は、それぞれ 1.2 ポイント増加した。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は全てが 80%を超え高い満足度を示しており、7項目で 90%を超えている。なかでも「9) 大学に対する親しみやすさ」は 95.6%と満足度が高い。【外国語学部】は他学部と比べ「1) 授業全体の教育内容や方法」(72.0%)は低い、「2) 学期ごとの成績結果」(86.4%)は高い。【経営学部】は、「10) 学生生活の充実度」の《満足項目》が 84.4%⇒89.6%と 5.2 ポイント増加した。

## 7. 家庭で話題になったこと

〈かなり話題になった〉、〈少し話題になった〉を合わせた「話題になった」では、「3）就職や卒業後の進路のこと」（91.6%）が9割を超えている。

【経営学部】の「2）実習や留学などのこと」（54.5%）は、他学部よりも低め。

図 1-8. 家庭で話題になったこと

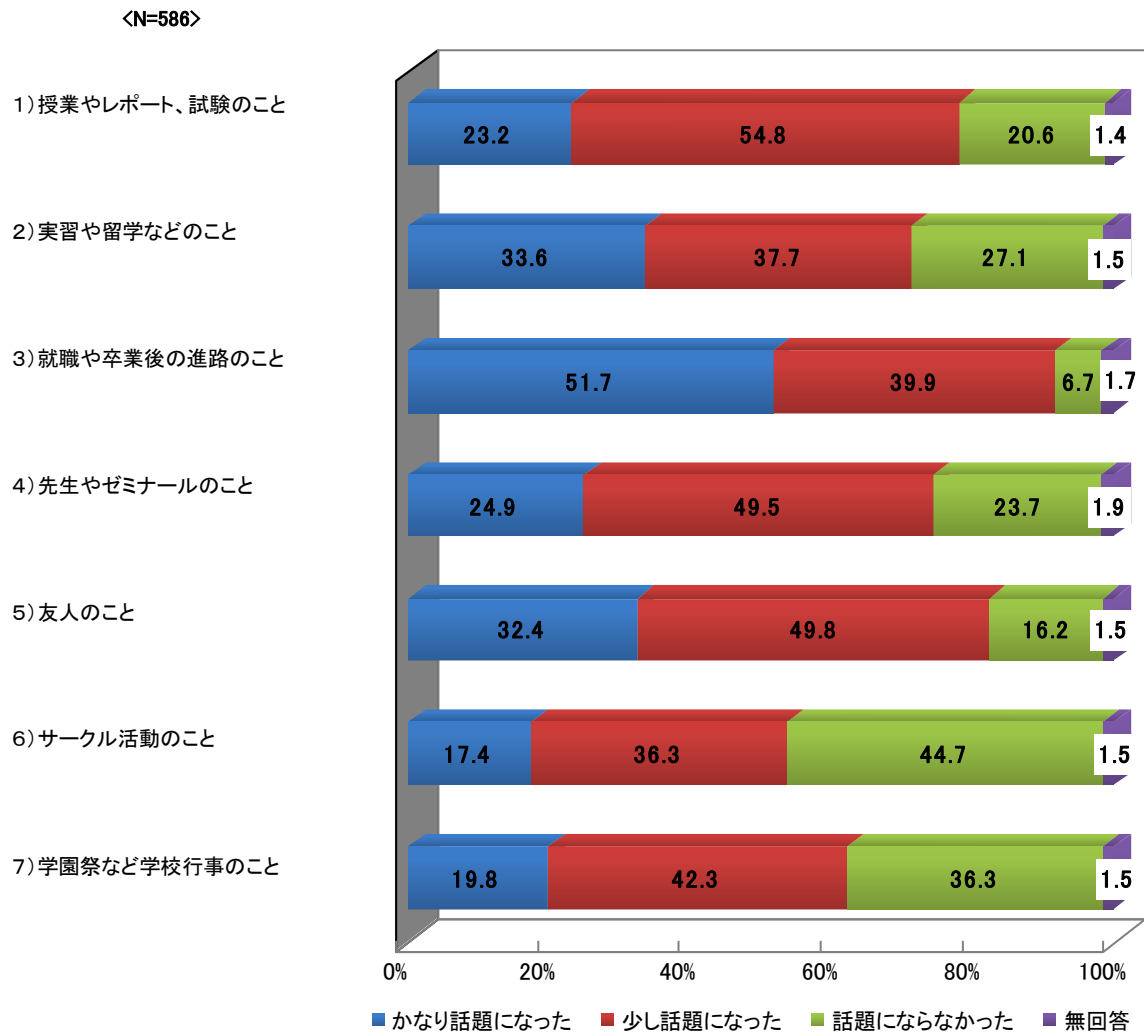
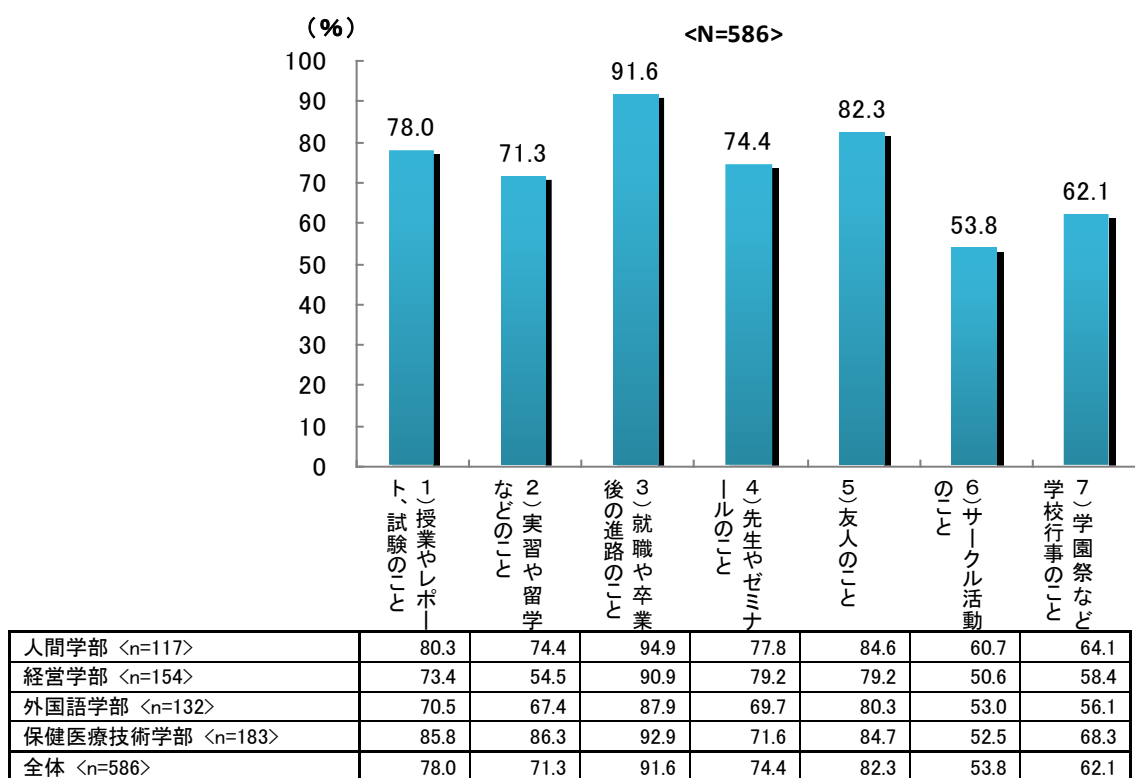


図 1-9. 家庭で話題になったこと（〈かなり話題になった〉＋〈少し話題になった〉）



卒業生全体では、「3）就職や卒業後の進路のこと」の〈かなり話題になった〉（51.7%）が5割以上を占めており、〈少し話題になった〉（39.9%）を含めると、91.6%と9割を超え、殆どの家庭で話題になっている。次に満足度が高いのが、「5）友人のこと」（82.3%）で〈かなり話題になった〉が32.4%、〈少し話題になった〉が49.8%となっている。また、《話題になった》で70%を超える項目として、「1）授業やレポート、試験のこと」（78.0%）、「4）先生やゼミナールのこと」（74.4%）、「2）実習や留学などのこと」（71.3%）があるが、〈かなり話題になった〉が30%を超えているのは、「2）実習や留学などのこと」の33.6%のみである。

昨年度と比較すると、《話題になった》で最も増加した項目は「4）先生やゼミナールのこと」で72.5%⇒74.4%の1.9ポイント。次に「6）サークル活動のこと」と「7）学園祭など学校行事のこと」が、それぞれ1.7ポイント増加。また、〈かなり話題になった〉では、「3）就職や卒業後の進路のこと」が54.4%⇒51.7%と2.7ポイント減少しているが5割を超えている。

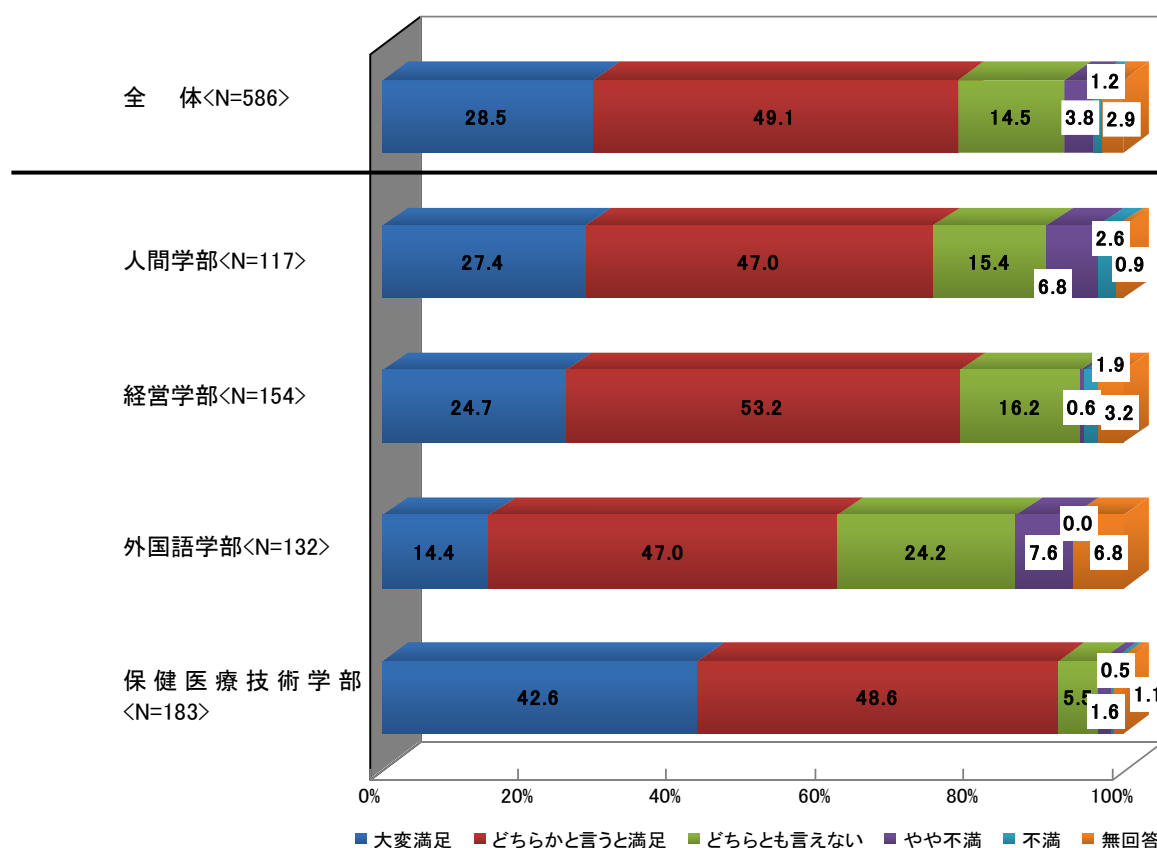
大学の学部別に見た場合、【経営学部】では「2）実習や留学などのこと」（54.5%）、【外国語学部】では「4）先生やゼミナールのこと」（69.7%）の《話題になった》が他学部よりも低めである。【人間学部】、【保健医療技術学部】、【経営学部】の「3）就職や卒業後の進路のこと」は、それぞれ94.9%、92.9%、90.9%と9割を超えている。また、【保健医療技術学部】は昨年と比較すると「6）サークル活動のこと」が42.9%⇒52.5%と9.6ポイント、「7）学園祭など学校行事のこと」が59.7%⇒68.3%と8.6ポイント増加している。

## 8. 学生生活に対する総合満足度

卒業生全体で見た場合、〈大変満足〉(28.5%)、〈どちらかと言うと満足〉(49.1%)を合わせた「満足」では、77.6%となる。

【外国語学部】の「満足」は(61.4%)と7割に満たないが、「不満」と答えたものはない。

図 1-10. 学生生活に対する総合満足度



卒業生全体では、〈大変満足〉が 28.5%、〈どちらかと言うと満足〉が 49.1%と合わせて「満足」が 77.6%となっている。

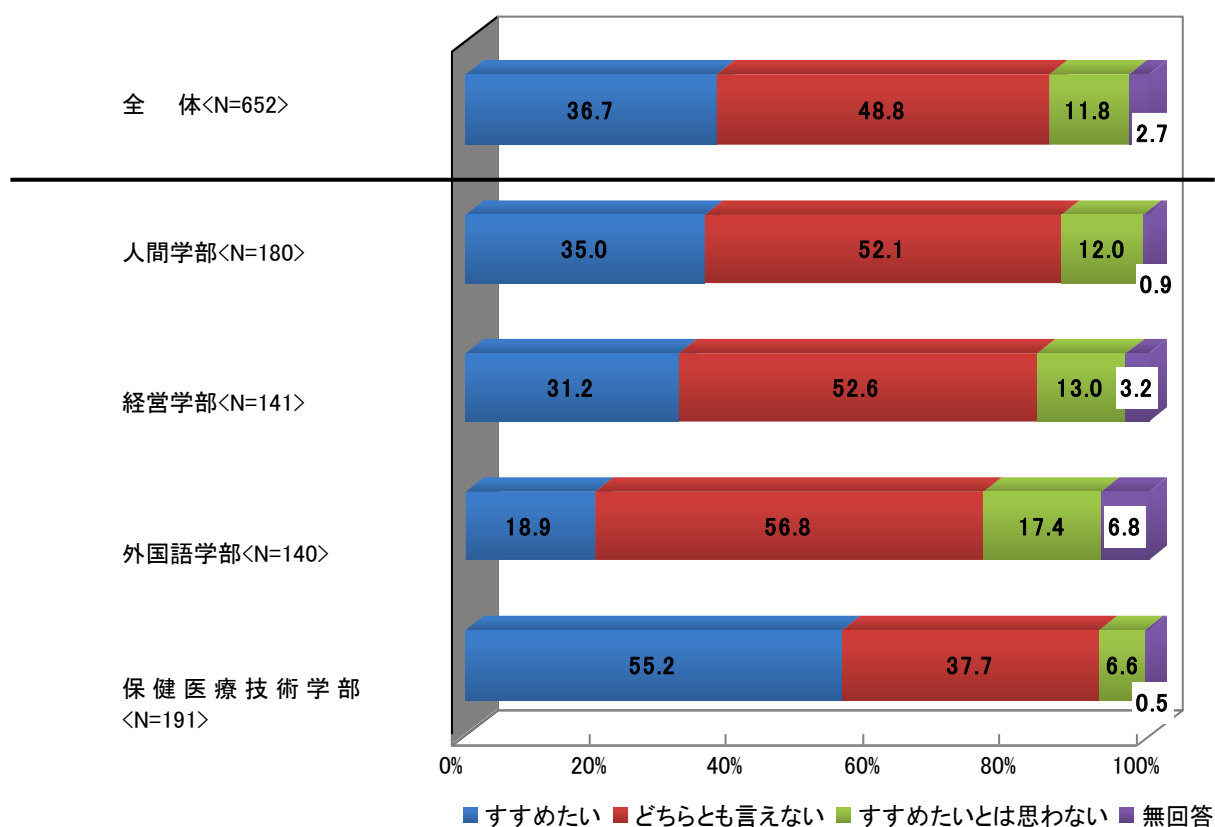
昨年度と比較すると、〈大変満足〉は 31.6%⇒28.5%と 3.1 ポイント、〈どちらかと言うと満足〉が 50.2%⇒49.1%と 1.1 ポイント減少したため、「満足」項目全体では 81.7%⇒77.6%と 4.1 ポイントの減少となった。

大学の学部別に見た場合、【保健医療技術学部】は〈大変満足〉が 41.9%⇒42.6%〈どちらかと言うと満足〉45.5%⇒48.6%と、それぞれ 0.7、3.1 ポイント増加し、「満足」項目では、91.3%となり、9割を超えた。【経営学部】〈大変満足〉が 0.8 ポイント減少したが、〈どちらかと言うと満足〉は 1.4 ポイント増加しており、「満足」項目は、77.3%⇒77.9%と 0.6 ポイントの増加となった。【外国語学部】の「満足」項目は 73.5%⇒61.4%と 12.1 ポイント減少した。

## 9. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか

全体で見た場合、「どちらとも言えない」が48.8%と約5割となっている。  
**【保健医療技術学部】**の「すすめたい」は55.2%と5割を超えている。

図 1-11. 家族や親族などに文京学院大学への入学をすすめたいと思うか



卒業生全体では、「すすめたい」が36.7%、「どちらとも言えない」が48.8%となっている。「すすめたいとは思わない」は11.8%と約1割程度みられる。

昨年度と比較した場合、「すすめたい」が38.8%⇒36.7%と2.1ポイントの減少、「どちらとも言えない」は48.6%⇒48.8%と0.2ポイント増加している。

大学の学部別に見た場合、**【保健医療技術学部】**の「すすめたい」が一番高く55.2%と5割を超えている。**【保健医療技術学部】**以外は「すすめたいとは思わない」が若干増加している。**【外国語学部】**と**【人間学部】**では「すすめたい」がそれぞれ30.0%⇒18.9%と11.1ポイント、46.7%⇒35.0%と11.7ポイント減少したが、**【経営学部】**では「すすめたい」が24.1%⇒31.2%と7.1ポイント増加している。



### **Ⅲ. 因果分析結果**

---

■ 総合満足度と各項目に対する満足度との因果関係

大学生生活の総合的な満足度を高めるためには、どのような項目に対する満足度を高めることが重要なのかを明らかにするため、「Q8. 総合満足度」と「Q6の10項目に対する満足度」との因果関係を、重回帰分析を用いることにより分析を行った。

卒業生の詳細な分析結果は以下のとおりである。

項 目		判定
1	授業全体の教育内容や方法	
2	学期ごとの成績結果	
3	ゼミナール教育や卒業論文指導	
4	大学での就職指導や進路相談	
5	学生相談や健康相談	
6	資格取得講座や留学制度	
7	大学からの日常の出来事や行事などの情報提供	
8	大学に在籍する安心感	※※
9	大学に対する親しみやすさ	
10	学生生活の充実度	※※※

※※※：総合満足度に非常に強く繋がっている最重要項目

※※：総合満足度に強く繋がっている比較的重要な項目

※：総合満足度にある程度繋がっている留意すべき項目

文京学院大学における学生生活に対する卒業生の総合満足度向上に関する評価項目を検証したところ

総合満足度に対して非常に強い関連性を持つ項目として、

10. 学生生活の充実度

が抽出された。このことは、本項目に対する評価を向上させることにより、総合満足度も高まることを示している。

また、総合満足度に強い関連性を持つ項目として、

8. 大学に在籍する安心感

が抽出された。本項目は総合満足度向上に比較的重要である。